

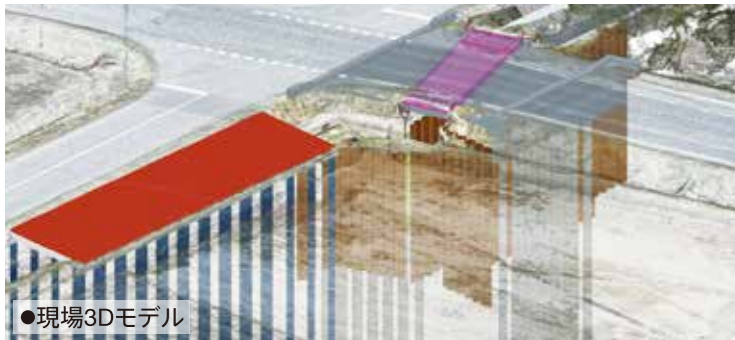


**HAGIWARA** TIMES



●現場全景 8月23日撮影

### 新鷗川地区田浦第1幹線排水路磯香橋工区外一連工事



●現場3Dモデル



●仮橋 施工状況



●迂回路 舗設状況



●鋼管杭 施工状況

● 工事名 : 新鷗川地区田浦第1幹線排水路磯香橋工区外一連工事

● 施工場所 : 勇払郡むかわ町

● 発注者 : 北海道開発局 室蘭開発建設部

● 進捗率 : 41% (8月末)

● 施工業者 : 萩原・菱中経常建設共同企業体

● 施工期間 : 令和5年3月14日～令和6年1月16日

# 土木

本工事は、国営鷗川土地改良事業(S38～S45)により造成された排水施設が、造成後30年以上の経過により老朽化が進み湛水被害が発生しているため、排水路の整備を行い、農地の湛水被害の解消を図り、農業生産の向上及び農業経営の安定に資する為の工事であり、田浦第1幹線排水路工区、宮戸幹線明渠排水路工区、宮戸北排水路工区と大きく3つの工区からなる工事となっています。

田浦第1幹線排水路工区では橋梁工、排水路工が主な工種であり、現在は鋼管杭(Φ600)の施工中、宮戸幹線明渠排水路・宮戸北排水路工区では法面工、整備工が主な工種であり、現在植生シートの施工中です。

現場の取組みでは、打ち合わせから測量までのICT技術の活用、地域住民の方々に配慮した施工計画、ライフライン事故防止などの現場安全環境整備などを積極的に行い、高いレベルでの施工品質・生産性・安全性の向上に努めています。

工種が多く非常に大変な工事ですが日々現場従事者が一丸となって無事故・無災害で完了するよう頑張ります。

現場代理人:秋葉 裕典/主任技術者:松本 優弥<菱中建設(株)>/現場担当者:奥村 祐介・柴田 京辰

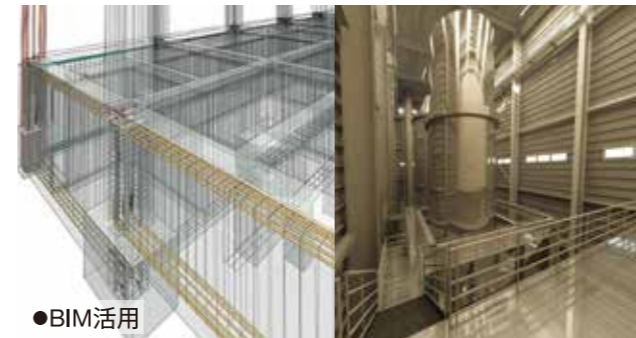


●焼却施設外観

### 株式会社DISPO. 産業廃棄物焼却施設・堆肥化施設 増設工事



●堆肥化施設外観



●BIM活用



●ピット全景

●焼却炉室

● 工事名 : 株式会社DISPO. 産業廃棄物焼却施設・堆肥化施設 増設工事

● 施工場所 : 帯広市西20条北4丁目2番地

● 発注者 : 株式会社DISPO.

● 設計・監理・施工 : 萩原建設工業株式会社

● 進捗率 : 引渡済

● 施工期間 : 令和4年8月8日～令和5年8月31日

環境対策と地域の環境保全に徹し、地域循環型システムづくりの一翼を担う無公害型施設にて産業廃棄物処理業を営んでいる株式会社DISPO.様(マテックグループ)による焼却施設及び堆肥化施設の増設計画となります。巨大で特殊な機能性をもった施設ですが企画フェーズはもちろんのこと施工フェーズにおいても株式会社DISPO.様と環境プラントエンジニアリングの株式会社ブランテック様と共に三位一体となり、施設の効率的な運用と管理と効率的な施工を目指した度重なる協議を経て無事竣工を迎えることができました。

本計画では施工フェーズでのBIM活用として新しい試みに積極的にチャレンジし「お客様との機能的な合意形成」「鉄骨建方時の施工フロー検討」「躯体施工時の干渉チェック」にBIMを活用しました。また新設施設と既設施設を接続する新設歩廊について、従来の測量技術ですと困難であった既設施設内の複雑な現況測量において土木部:技術管理課と協働し、3Dレーザースキャナーで取得した点群情報を基に、既設施設内をBIMモデル化し新設歩廊の部材の位置や納まり等の検討に実装することによって、手戻りのない精度と検討時間の大幅な短縮に繋げることができ、施工フェーズでのBIM活用について大変成果が得られた計画となりました。

設計担当:濱田 純也/現場代理人:柳沢 和茂/現場担当者:早川 晃大・レハイクオン



# 建築



●籠なわ設置(1日目)



●捕獲(2日目)

## —— ザリガニ駆除活動(第14回) ——

帯広市を流れる「機関庫の川(清流地区)」の生態系保護を目指して、職員24名が参加しました。2日間にかけて実施し、初日に仕掛けた籠なわを引き上げ17匹を駆除。昨年の捕獲数60匹に比べ大きく減少したことから、本活動の成果を実感できました。

## —— 謝恩コンサート(第35回目) ——

地域の皆さまに感謝の意を表して開催した今年の「究極コンサート」では、ジブリ作品集やベートーベンの弦楽四重奏曲第9番など素晴らしい演奏を披露されました。

来場者数は約700名となり、その中から「来年もぜひ開催してほしい」と嬉しいお声を頂きました。



●弦楽四重奏



●コンサート会場



●イカダ下り参加メンバー



●イカダ製作風景



●ゴール会場

## —— 十勝川イカダ下り(第51回目) ——

4年ぶりの開催となる今年は総勢50艇245名が自然を満喫しながら十勝川を下りました。弊社からは9名が参加し、“青い竜”をテーマにイカダを作成しました。試行錯誤の中、竜は『ハギワラブルー』で統一し、使わなくなった弊社作業服を再利用しました。ゴールの後は応援の社員も加わり、ジンギスカンを囲む賑やかな一時を過ごしました。

弊社は今後も地域の皆さまに愛される企業を目指し日々邁進して参ります。

## 📷 今月の表紙

撮影：萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月はエゾシカの親子です。道東をドライブしていると、エゾシカと遭遇する事が頻繁にあるかと思えます。時にはすごい数の群れを見てびっくりした人も多かもしれません。そんなエゾシカも大量の狩猟により、一時絶滅寸前の危機に瀕していたと言われていました。現在は禁猟政策を取り進めながら徐々に数を増やし、推定生息数70万頭を超えています。加えて、10～11月は繁殖期で動きが活発化します。100kgを超えるエゾシカに接触すると車も無事にはすみません。鹿の飛び出しに十分注意して、これからの美しい紅葉ドライブをお楽しみください。





## とがち帯広能楽喜多流公演

日本全国 能楽キャラバン! in とがち帯広

令和5年

10月8日(日)

13:30 開場

14:00 開演

帯広市民文化ホール(小ホール)



喜多能楽堂  
オンラインチケット予約  
<http://kita-noh.com/ticket/>

